

## 第4回 兵庫便教会 報告

2015年1月10日(土)、第4回の兵庫便教会を芦屋市立精道小学校にて開催しました。初参加2名を含め、11名の参加をいただきました。輪の広がりを感じます。紹介してくれた先生に感謝です。

簡単な自己紹介のあと、1Fの男女トイレに分かれて、トイレ掃除の実践をしました。精道小学校は阪神・淡路大震災で8名の児童、6名の保護者が亡くなった学校です。1月17日には追悼行事が予定されているということなので、思いを込めて掃除をさせていただきました。

便器が比較的きれいであったため、床磨きに時間をかけました。なかなか手ごわい床磨きでしたが、終われば歴然とした違いがありました。その後、今回は靴箱のある玄関の掃き掃除を全員で取り組みました。靴を履きかえる場所は、学校に入る精神的な境界線としても位置付けられると思います。楽しみを期待しながら通過する子、心配なことを抱えて通過する子、辛い思いを持ちながら振り切るように通過する子、どんな子どもにとっても学校生活のスタート地点である玄関を掃き清めておきたいと思いました。

「はきものをそろえる」

藤本幸邦

はきものをそろえると心もそろう  
心がそろうとはきものもそろう  
ぬぐとときにそろえておくと  
はくとときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の人も心もそろうでしょう



最後に感想などを交流しました。人それぞれに異なる気づきがあります。教師である我々は、掃除をしているときに湧き起こる気づきを、教育と結び付けて考えることが多くあります。掃除のやり方を知り、子どもたちに伝えようと考えます。汚れがとれた達成感を感じ、子どもたちにこの達成感を実感させたいと思うこともあります。見えない所の汚れを見つけ、子どもたちを表面でしか見ていない自分の子ども理解の未熟さを感じたりします。

こういったそれぞれの気づきを交流することによって、また新しい気づきを得ることが出来ます。そして学びへとつながっていき、また明日からの実践への手がかりとなります。

みなさんが何かを気づき、学びにつながり、明日からの実践の参考にでもなったのなら、嬉しい限りです。

今回は、私のミスで急な開催となりましたが、快く会場をお貸しいただいた精道小学校の先生方、遠方より駆けつけてくださった方々に厚く感謝いたします。

次回は3月に予定しています。それまでも他の地区で便教会が開催されています。詳しくは大阪便教会のHPから「各地の便教会情報」をご覧ください。

(文責：木田重果)